

指導方針

お子さまの興味を引き出すさまざまなテーマで、身近なものを科学的に観察したり、そこからの発見を楽しんだりする姿勢を育みます。

「疑問をもち、見通しをもって確かめ、発見する」問題解決のプロセスで、科学的なものの見方(数量的にとらえる、順番、色や形に注目するなど)、考え方(比較分類する、関連づけて考えるなど)を身につけます。

感受性が豊かな低学年では、驚きや感動の「実感」を重視し、実際に手を動かして体験・発見することを大切に指導していきます。低学年の時期に、身のまわりのことを科学的にとらえる体験をしておくことで、科学的な見方・考え方が身につくだけでなく、3年生以降に教科として理科や社会を学習する際に、自分なりの理屈をもって考えられるようになります。

科学的な問題解決のプロセス

